

令和5年度 学校経営方針【通信制の課程】

1 校 訓

「 自 主 協 和 創 造 」

2 教育目標

- (1) 意欲に燃え、自主性のある人間の育成
- (2) 互いに敬愛しあい、協調性をもつ人間の育成
- (3) 知性を高め、創造性に富んだ人間の育成

3 教育方針

- (1) 校訓の精神を生活の規範とする。
- (2) キャリア教育をとおして将来を見据えた学習を奨励する。
- (3) 一人ひとりの生徒が進路実現可能な支援体制を構築する。

4 教育方針指導の重点

教育方針に基づき、次の各項目についてあらゆる教育場面で指導する。その実現に向けた教職員の研修を充実し、教職員個々の指導力と学校組織としての教育力の向上を目指す。特に、スクーリングとレポート提出の他、各種行事をとおして、生徒が社会に出るために必要な資質を身につけることを目的とした教育活動を実践する。

- (1) スクーリング時の指導と添削指導の充実
 - ア 生徒の学習状況を的確に把握した「分かるスクーリング」を実践し、社会で必要とする学力・能力を身につけさせる。
 - イ 教材の精選と指導・評価の工夫により、達成感を与え学ぶ意欲を向上させる。
- (2) 道徳教育の充実
 - ア あらゆる教育活動をとおして、人間としての在り方生き方を探求する活動を行い、自他の生命を尊重する精神及び自律の精神を養う。
 - イ 義務を果たし責任を重んずる態度や道徳的実践力を身につけさせる。
- (3) 生徒指導の充実
 - ア 社会人として求められる望ましい生活習慣、規範意識、礼儀・態度など、TPOをわきまえた言動を身につけさせる。
 - イ 事故や問題行動の未然防止に努めるとともに、他人への思いやりや公共物を大切にする心を育成する。

(4) 進路指導の充実

ア キャリア教育に関する活動を展開し、自己理解を深めさせ、社会性を向上させるとともに、適切な職業観を育成する。

イ 保護者・関係諸団体との連携を図りながら就業意識の向上に努める。

(5) 教育相談の充実

ア 教員が生徒との心の結びつきを深め、自尊感情の育成を図りながら内面の成長を支援する。

イ 多様な背景や教育的ニーズをもつ生徒に対応するため、教員の専門性向上に努める。

(6) 言語活動の充実

ア 言語は知的活動（論理や思考）の基盤であるとともに、コミュニケーション・感性・情緒の基盤であることから、あらゆる教育活動をとおして、意図的、計画的に指導し言語力を育成する。

イ 生徒の発達段階等に応じた指導の工夫・改善を図る。

5 指導の重点事項における具体策（生徒の指導・支援にあたって）

(1) スクーリング時指導・添削指導の充実について

ア 通信制においては、スクーリング及び添削指導の改善なくして教育活動の改善はなしという認識にたち、分かりやすく丁寧な指導に努めるとともに、自主的・自律的学習習慣形成に意を注ぐこと。

イ 生徒個々の状況に応じて復習と繰り返し学習に粘り強く取り組み、基礎学力の向上に努める。

ウ 主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業をはじめ、あらゆる教育活動をとおして、全ての生徒が「分かる」「できる」を実感できるように配慮し、成功体験の積み重ねにより自己肯定感や自尊感情を育成する。

(2) 道徳教育の充実について

ア 「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」という人と人をつなぐ言葉をいつでも、どこでも、誰に対しても素直に言える態度を育成する。

イ 人間としての在り方生き方をあらゆる教育活動をとおして、全教職員が必要な時期、必要な場面で適宜対応する。

(3) 生徒指導の充実について

ア 時間の厳守、適切な服装容儀、TPOをわきまえた言動ができるよう、生徒の基本的生活習慣と規範意識を徹底して育成する。

イ 思いやりの心を醸成し、共に学び、支え合いながらいじめの無い学校宣言をします。

(4) 進路指導の充実について

- ア キャリア教育をとおして、生徒の「生きる」「働く」「学ぶ」をつなぐ取り組みを推進し、生徒の自立を目指した就労支援をする。
- イ 生徒一人ひとりの発達の段階や教育的ニーズに応じた適切な進路指導を充実させるため、教員相互の情報の共有化を図る。

(5) 教育相談の充実について

- ア 担任はいうまでもなく、必要に応じて学年主任や管理職による面談や支援も行う。
- イ 各種研修講座の積極的な受講や校内研修会等により、自己の相談スキルを向上させる。

(6) 言語活動の充実について

- ア 多様な生徒に対し、生徒個々の発達段階に応じた言語活動の工夫改善を図る。
- イ 各教科・科目等においては、知識・技能を活用する学習活動、特に記録、要約、説明、論述、討論などの言語活動を工夫し、広い知識と健全な批判力を養う。

6 令和5年度の取り組み

- (1) 新指導要領導入にともなう教育課程の研究と適正な展開
- (2) グランドデザインの策定
- (3) 生徒の学習保障・安全安心を保障する弾力的かつ強靱な組織運営
- (4) 後期入試への対応
- (5) 校務の適正な遂行
 - ① 職員間の業務偏重の解消、報告・連絡・相談の徹底と業務の効率化
 - ② 新統合校務支援システムへの適応と働き方改革